

\* ESD21初めての試み \*

# 「TPS/トヨタウェイを楽しみながら学ぶ講習会」

第6回TPS/Lean研究会「TPS連続講座」特別講習会  
2019年2月1日(金)於、東桜会館



一般社団法人

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

Association for Support of Economic Sustainable Development for 21st Century

ESD21

ESD21の新しい風を、企業に、地域に、そして国の未来へ

# 挨拶と開催趣旨

ESD21 顧問・理事 鈴木 明夫

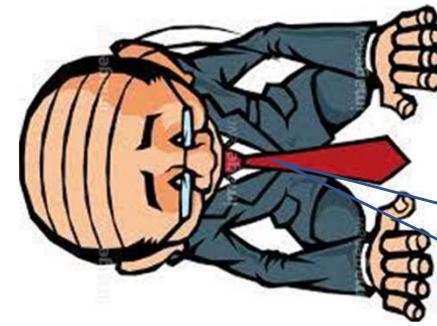
# なぜ！実体験から見るTPS導入がうまくいかないのか

導入初期その

1



問題は？  
層別、魚の骨、  
パレート図……  
A3 1枚で、  
トヨタ用語



どうして分かってく  
ないのか？

トップが来て押しつけ号令や露骨な威嚇をかけたり、改善指導者、TPSの専門家が指示を出すので、「言われたかやろうか」と仕方なしにやっている場合がほとんど。中には反発したり、無視したりする人も出てくる。現場のやる気が起こらない。国内外共通。

社内と取引先の  
混乱だけが残る



## 導入初期その2

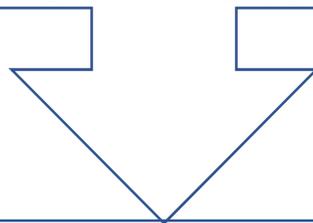
TPSが世界で知られるきっかけになったのは、トヨタの業績によるところが大きい。

トヨタのようになりたければトヨタを真似よ。TPS！TPS！TPS！

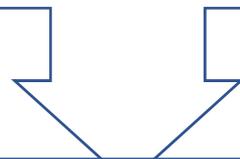
TPS支える最大の条件：①消費者への販売量が官庁統計で正確にわかる。

②商品の季節性ほとんどない③販売網での競合ない④トップが生産管理を理解

⑤仕事のやり方を変えること自体が仕事の重要目標



TPSはどのような企業にも導入可能であるもTPS指導者の中にはT社しか知らない、ノづくり重点、上から目線の指導スタイル、自身を神格化される方もいた。



TPS導入には大きな果実があるもののそれぞれのビジネス前提条件に合わせた土地  
樹木が必要の理解に欠ける。

# はTPS導入がうまくいった実体験

から押しつける強制的なTPSでなく、TPSスタッフ自ら現場に入り込み考え、社員自ら改善を実行するTPSにした。人間の本性の心底から納得、共感、改善意欲、行動、実行に移る。特に外国ではガミガミ言われてもやる気が出ない。

と、TPS活動の一環として事例発表会を行なった。その場に役員や顧客幹部を出席する仕組みとした。それまでは現場レベルにとどまっていた課題を、経営課題と認識させた。その結果、ムダ・ムラ・ムリも排除や生産の平準化は利益率の改善に大きく貢献した。



TPS導入で際立たせる強みとなり収益向

# ミャンマーの産業振興に必要とされる 人材育成環境の喫緊の課題

ESD21の過去の活動を通じて感じた事はミャンマービジネス成功の秘訣は人材育成から！教育の質的向上

製造業の日本企業とのマッチングや国際競争力向上には、単なる一般的な教養だけでなく、アカデミックと実践的な経営技術、マネジメント等の両面において「モノづくり」の高度な研修プログラムを提供する必要性を実感。



ESD21としてTPS/Lean方式による人材育成事業の展開

では本日の「本では見えないTPSの強  
さの秘密を明かす講演」と「TPS/リー  
ン方式の言葉と意味の特殊性の体感」で  
専らの方角性とメリットを理解され、ビ  
ジネスイノベーションにお役に立て  
ば幸いです。